



ジェネシスサウンド シリーズ

福井生まれの奇跡の逸品たち

味が変わる不思議なぐい飲み
新作・越前焼

今回紹介するのは、越前焼のぐい飲みです。飯塚雅夫氏の企画開発により、電界処理が施されています。

一見、普通の焼き物に見えますが、じつは、中に飲み物を入れると、一瞬にして味が変わります。

もともとは、陶器の音響用インシュレーターを開発する計画から生まれたものです。よって、オーディオ・アクセサリとして使用しても、音響効果は抜群です。

この品は、ほぼ十年前に製造されたものです。粘土には、当時としては超高級のセラミックが含まれています。このセラミックを数ミクロンの粉にして、粘土に練りこんでいます。

そして、登り窯にこだわり、二二〇〇度の高温で焼きあげてあります。石のように固い焼きあがりになりました。その後で、再び電界およびジェネシス加工を施しています。



このぐい飲みは、県内の酒造会社やフランスのソムリエの方に試されたことがあります。高い評価を得たものの、これまで販売は計画されませんでした。ちなみに、このぐい飲みを一つ、安いワイン樽に入れたところ、上級ワインに変化して驚かれたこともあるようです。

ぐい飲み、下に敷いてあるのは、音響用の越前焼の陶板

【問い合わせ先】福楽出版事業部まで